

かどがわ

January
2024

1

議会だより

No.177

もちつき楽しいね～

あけまして
おめでとうございます。

令和5年 第4回定例会

一般会計補正予算(第8号 第9号) 全員賛成・可決
3億7,840万4千円を追加し、104億13万3千円

歳出の主なもの

ふるさと納税事業	1億3,606万5千円
財産管理事業 (ふるさと納税寄付金を基金へ積み立てなど)	8,313万円
医療費を助成する母子父子福祉事業	1,068万円
老人福祉事業	411万円
し尿処理施設維持管理事業	835万円
有害鳥獣駆除事業	330万円
企業立地促進奨励金	5,000万円
広域消防負担金	1,039万円
小学校管理事業 (五十鈴小学校校長住宅解体工事など)	436万円
林道塩見谷～土々呂内線災害復旧	2,000万円
予算編成の財源調整として予備費	1,051万円
物価高騰による住民税非課税世帯等支援給付金給付費	1,827万9千円

特別会計および水道会計補正予算(全員賛成・可決)

国民健康保険事業	99万5千円を追加し	総額 26億3,918万5千円
介護保険事業	307万5千円を追加し	総額 19億304万9千円
水道事業	1,600万円を追加し	資本的収入 総額 1億4,080万1千円 資本的支出 総額 2億6,526万2千円

専決処分 全員賛成・承認

令和5年度門川町一般会計補正予算(第6号)
教育費(勤労者総合福祉センターエレベーター修繕工事など) 121万6千円追加
令和5年度門川町一般会計補正予算(第7号)
物価高騰対策給付費(住民税非課税世帯7万円追加支給分など) 1億8,520万円追加

条例の制定・改正等

犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪等の被害者、その家族または遺族が、地域社会の中で再び平穏な生活を取り戻すことができるよう支援を迅速かつ円滑に行うため、支援に係る基本的な事項を定めるもの。

(全員賛成・可決)

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

国家公務員に対する人事院勧告、県人事委員会勧告を受け、国と県は職員の給与を改定する予定で、本町も国家公務員の取扱いに準じて、給与を改定するもの。

(全員賛成・可決)

以下の3条例の一部改正は、特別職の国家公務員の期末手当の支給割合に準じて、期末手当の支給割合をそれぞれ0・15月分引き上げ、現行の年間3・25月を3・40月とする内容の条例改正

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正(賛成多数・可決)

教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正(賛成多数・可決)

こんなことが決まりました

議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正(賛成多数・可決)

手数料徴収条例の一部改正

戸籍法の一部が改正され、戸籍謄本等が本籍地以外でも交付をうけることができるようになり改正するもの。

(全員賛成・可決)

国民健康保険条例の一部改正

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法の一部を改正する法律等が改正されたことに伴い、門川町国民健康保険条例について所要の改正を行うもの。

(全員賛成・可決)

水道事業の設置等に関する条例の一部改正

条例の対象となる事業に簡易水道事業を新たに追加し、簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することや簡易水道事業の給水区域や給水人口を追加するもの。

(全員賛成・可決)

水道事業給水条例の一部改正

条例の対象となる事業に簡易水道事業を追加するもの。

その他議案

簡易水道事業条例の廃止、特別会計設置条例の廃止

簡易水道事業に地方公営企業法を適用することに伴い条例廃止。

(全員賛成・可決)

日向東臼杵広域連合規約の変更

一般廃棄物最終処分場の設置、管理及び運営に関する事務について、次期広域最終処分場整備に関し、令和5年9月に美郷町花水流区と基本同意に至ったことにより、令和6年4月から日向市が事務事業に加入される。

(全員賛成・可決)

公の施設に係る指定管理者の指定

指定管理者制度により運営を行っている7施設(総合文化会館・勤労者総合福祉センター・海浜総合公園・勤労者体育センター・総合福祉センター・子育て人づくりセンター・町営住宅)について令和6年3月31日をもって指定管理期間満了となることに伴い、次期5年間の指定管理者の指定をおこなうもの。

(賛成少数・否決)

表 決 表

各議員の審査結果 (○: 賛成、●: 反対、—: 議長)

議案 (全員賛成の議案は除く)	黒田 耕右	寺田 泰隆	岩切 義樹	魚永 崇貢	松本 良一	田中 豊和	宇都宮 三良	米良 格	中城 資力	岩佐 祐一	森川 春夫	神崎 千香子	出口 希俊	森 誠一
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	—
教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	—
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	—
公の施設に係る指定管理者の指定	●	●	○	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	—



町長の目指すまちづくりについて

まつもと りょういち
松本 良一 議員

町長 「豊かさを実感できるまちづくり」等を目指す

問 町長は「笑顔あふれるまちづくり」を掲げているが、町長の目指す姿とはどんなものか。

町長 私が目指すまちづくりとは「豊かさを実感できるまちづくり」「快適な生活を実感できるまちづくり」「男女が共に担い、安心して子育てができるまちづくり」「住みなれた地域で、安全で安心して暮らせるまちづくり」である。

問 町長は、町長と町民との意見交換会を昨年から実施しているが参加者及び出された意見はどんなものか。

町長 昨年8月から実施しているが、本年11月迄で16人である。出された意見は、門川の活性化や防災対策等多岐に亘っており出された意見は、担当課につないでいる。



問 本年8月に、門川デジタル変革宣言を発表しているが、町民には、どのようなメリットがあるのか。また町民には、どのような方法で周知するのか。

町長 身近なラインを活用した情報発信やスマートフォンでの申請書を書かずに申請できるサービスを考えている。町民への周知については、町広報や班回覧で周知を図る。

問 デジタル推進係が実施しているスマホ教室の参加者数は、また12月で終了すると広報にのっていたが、来年以降の予定は。

企画戦略課長 スマホ教室の参加者は、3カ月で48名が受講した。またスマホ教室は、来年以降も実施したい。

問 避難場所となっている小・中学校では、避難してきた高齢者もトイレを使用する。足腰の悪い高齢者には和式トイレの使用は大変である。各小・中学校の洋式トイレの設置状況は

教育長 門川小学校が70%、草川小学校が69%、五十鈴小学校が66%、門川中学校が70%の設置率で、全国の設置率68%とほぼ同じである。

問 教育を支える体制として、学校・家庭・地域が密接に連携し、地域ぐるみで子育てに関わる社会を目指すことと謳っている。地区育成会の加入状況及び町当局の今後の方針は。

教育長 昭和50年発足当初から4分の1程度に減少してきている。「子ども会」や「育成会」活動は、「学校・家庭・地域が一体となった教育」を推進する上で有意義であり、今後もその充実を目指して継続的な支援を行う。



▲草川小学校屋上避難場所

討論

門川町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

神崎 千香子 議員

町民生活は苦しい状況にもかかわらず、産業振興など様々な点で、町民生活を向上する具体策は見当たらない。この事は私たち議員の力不足でもあり、報酬を上げることは厳しい。

反対

宇都宮 三良 議員

一般質問の中で財源が厳しいと答弁していたが、そんな状況で給与等をあげるはおかしいと思うので反対します。

松本 良一 議員

若手議員は、議員報酬だけでは生活が厳しく、別の仕事との兼業になっている。議員として十分な活動を行う上でも、報酬の改定は必要であり、議案に賛成します。

賛成

門川町の公の施設に係る指定管理者の指定について

米良 格 議員

「門川町子育て人づくりセンター」において、指定管理料が現在より年間600万円減額された理由などに疑問を感じたことと、本町、政府も子育て支援に尽力するという中で、納得のいかない提案だと考え反対討論いたします。

反対

宇都宮 三良 議員

新しく指定管理をうける方が子育て支援について熱心なのは理解しているので問題はないが、助産師がいなくなると現在利用してる方が困ると思う。

中城 資力 議員

公共施設の指定管理に関しては公募で行っている。否決となった場合、再度公募が成功するとは限らず、最悪の場合、当該事業の継続が出来ない可能性がある。現在の事業がこの予算規模で継続出来るならば賛成すべき。

賛成



うおなが たかつぐ
魚永 崇貢 議員

物価高騰対策について

町長 速やかに引き続き、対策を行う

物価高騰対策について

問 住民税非課税世帯に対しての一世帯当たり七万円の追加給付の給付は。

町長 令和五年十二月、専決処分し、議会承認を得、給付手続きを開始した。

問 住民税課税世帯や減税を受けられない所得層所得の低い子育て世帯に對しての給付は。

町長 他自治体の動向や情報を収集し、関係課と協議を進める。

問 「重点支援地方交付金」の活用は。

町長 令和四年度は、11事業に三億三千五百十九万円を支出した。

問 令和五年度には、当初予算に於いて、10事業に合計、二億五千六百四十四万円計上し、只今も継続している。

町長 令和六年度は、「重点支援地方交付金」の「推奨メニュー」の中から引き続き、議会承認の上、執行する。

問 「公的給付制度」を活用し、「マイナンバーカード」の紐づけ情報で給付金を口座振替しては。

福祉課長 前回、三万円を支給した情報で支給し、それ以外の方は書面で通知した。

問 事務負担を軽くし、速やかに支給を行うには、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用すべきでは。

企画戦略課長 国のシステム標準化の改修が令和七年度までに行う予定である。

問 奨学金返還支援制度について

町長 宮崎県では、「ひなた創生のための奨学金支援事業」を実施し、県認定の支援企業に就職している若者の負担を軽減している。

問 門川町に於いて制度ができた場合は、「奨学金返還の支援制度」を受けることができる可能性があるということをわが町の高中生や中学生に周知し、



▲日向管内の企業説明会

また、移住政策を考えれば、わが町以外の若者にも「卒業後の進路選択」更には「卒業後の居住地の選択」に大きな影響を持つのでは。

企画戦略課長 「移住政策」という点については、大変、有用であるので、調査研究を行なう。

問 門川町に於いて制度ができた場合は、「奨学金返還の支援制度」を受けることができる可能性があるということをわが町の高中生や中学生に周知し、

問 これまでの議会で、私が一般質問を行いました際、「前向きに検討します」「研究課題とします」と答弁をされましたが、その後、どの様な話し合いをされたか、または、改善されたかなどについて進捗状況を伺いたい。

町長 スポーツ少年団の支援補助

スポーツを通して青少年の心と身体を育てるスポーツ少年団の活動は、青少年の健全育成に欠かせないものであると考えている。練習で使用する公共施設の使用料を減免、町有地の無償使用などの支援は継続する。令和四年度のスポーツ少年団に対する施設使用料の減免は公共の体育施設でおよそ125万円となっている。練習場への照明設備設置に対しては、近隣市町村と同様に補助を行う考えはない。

問 子どものことや保護者の金銭的な事を考えればもっと補助金を出すべきだ。

教育課長 近隣市町村ではそこまでの補助をしていない。

問 近隣市町村と揃える必要はない。町独自の補助をするべきだ。現在の規定や基準を見直すべきだ。

教育課長 現在の財政を考えるとこれ以上の補助は厳しい。

町長 心の杜近隣公園の遊具改修

遊具のリニューアルに向けて、複数の見積もりを業者より収集している。今後は、利用者からのご意見や、先進地の事例なども参考にしながら、奥の芝生広場や遊歩道、展望台も含めた総合的な整備について検討していく。



▲心の杜近隣広場

問 複数の業者から見積もりを収集しているとのことだが、具体的にどのような改修を考えているのか。

地域振興課長 裏の芝生広場への大型遊具の新設撤去を考えている。

問 公園広場にサウナつき家族風呂を建設してみてはどうか。

地域振興課長

温泉を含め総合的な見直しを考えている中の貴重な意見として承りたい。

町長 町内の公園フェンスの改修・補修

今年度は、西栄町第二街区公園においてフェンスの改修工事と庵川西近隣公園の部分補修を実施し完了している。

建設課長 改修工事は年一箇所です。計画。補修に関してはその都度行っていく。

問 年に何箇所改修予定なのか。

町長 現在、プロジェクトチームにおいて、関係各課からの課題の抽出を行い、整理を行っている。出てきた課題としては財源の問題や施設の規模、避難の方法等が挙げられている。今後とも会議を定期的に行い、その中で抽出される課題を整理し、どの様な施設等が望ましいのかを検討していく。

町独自スポーツ少年団の支援補助を

うつのみや みつよし
宇都宮 三良 議員

町長 財政を考えると難しい

スポーツを通して青少年の心と身体を育てるスポーツ少年団の活動は、青少年の健全育成に欠かせないものであると考えている。練習で使用する公共施設の使用料を減免、町有地の無償使用などの支援は継続する。令和四年度のスポーツ少年団に対する施設使用料の減免は公共の体育施設でおよそ125万円となっている。練習場への照明設備設置に対しては、近隣市町村と同様に補助を行う考えはない。

遊具のリニューアルに向けて、複数の見積もりを業者より収集している。今後は、利用者からのご意見や、先進地の事例なども参考にしながら、奥の芝生広場や遊歩道、展望台も含めた総合的な整備について検討していく。

今年度は、西栄町第二街区公園においてフェンスの改修工事と庵川西近隣公園の部分補修を実施し完了している。

今年度は、西栄町第二街区公園においてフェンスの改修工事と庵川西近隣公園の部分補修を実施し完了している。

今年度は、西栄町第二街区公園においてフェンスの改修工事と庵川西近隣公園の部分補修を実施し完了している。



めら いたる
米良 格 議員

加草・中村線、 国道388号について

町長 本年度、国土交通省の事業認可の準備中

問 都市計画道路、加草・中村線の進捗状況は。

町長 昨年度都市計画決定の変更、今年度は国土交通省の事業認可の申請協議を実施している。

問 計画は昭和49年にはなされているが、完成はいつになるのか。具体的な年度は示せないのか。

建設課長

目途は立っていない。いつになるのかは現時点で示せない。建設に向け一つ一つクリアしていく。

問 いつまでに建設するという目途があるのでしょうか。

町長

本路線は、予想される『南海トラフ大地震』による津波避難や物資輸送の道路として、また周辺土地利用の活性化のためにも、大変重要な路線である。早期着工に向

け努力する。

問 国道388号の庭谷〜松瀬間、五十鈴〜小園間の今後の見通しは。

町長 国道388号は、沿線自治体の産業経済の発展、観光振興に欠かせない路線であり、災害時の命の道としても重要な路線である。

庭谷〜松瀬間は、令和3年度より一部工事着手している。

五十鈴〜小園間は388号の他工区の事業進捗を踏まえ、新規工区の検討をしていくとの県の回答であり、早期完成に向け、県と連携して事業進捗を図っていく。



▲都市計画道路加草・中村線(上空より)

問 本町も『デジタル変革宣言』を行い、町民と一丸となって情報化社会に適切に対応していくこととなりましたが、町のホームページ、ラインについては、管理・運営はどのような形でなされているのか。

町長

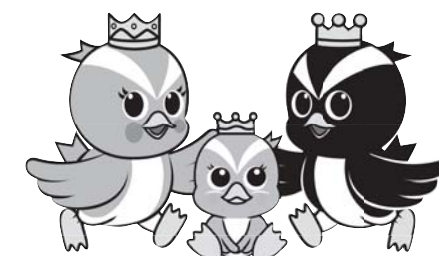
町ホームページは記事の投稿・更新は担当者が記事作成、各課長の承認後公開、町ラインは企画戦略課で管理している。

現在、リニューアル及び機能拡充に取り組んでいる。

町民参加の情報発信の創設については、町からの情報提供が目的であり導入は考えていない。町へのご意見等がある場合はホームページ

にあるお問合せシステムを利用していただきたい。

児童・生徒向けのサイトについては、費用面で困難であるが、ホームページの中に新たなページは可能と考えられ、教育委員会と相談の上検討していく。



くろだ こうすけ
黒田 耕右 議員

生理用品を学校トイレ内へ 設置してほしい

教育長 必要性や実効性を検証していく

町内学校トイレ内への生理用品設置について

問 生理用品のトイレ設置の件は検討中との事だが、宮崎県内でも複数の自治体が実施している。本町も学校トイレ内に生理用品を設置し、学校職員を介さずに自由に生理用品を使えるような状態にできないか。

教育長

生理用品の学校配付を児童生徒に対する保健指導の適切な機会として捉え、保健室において生理用品を直接配付する方法を取り入れている。情報や経験が不足する小・中学生にとっては、時宜を得た的確な指導が必要な場合も多いと思われる。

また、「保健室だけでなく、学校生活や家庭生活に関する悩み相談につながる大きなメリットがあり、適切な指導の機会として重視したい」といった学校側の自覚と責任があるのも確か

である。

教育委員会としては、学校と連携して生理用品のトイレへの設置に関する必要性や実効性を検証しながら、児童生徒が安心かつ健康的な学校生活を送ることができ環境づくりに努めていく。

問 生理用品のトイレ設置自体が可能であるならば、まず設置してみようか。その上で検討してはどうか。

教育長

小中学生の段階は養護教諭が適切に指導するのが大事ではないかという事で、学校の判断のものと保健室で直接配布をしている。



▲町で配布している生理用品

問 相談を聞く等適切な指導も出来ると思うが、その反面、言いたくない生徒もいると考えられる。そういった生徒に配慮して、自由に使える状態にするのも女子生徒の安心につながるのでは。

教育課長

学校の先生達は児童生徒と向き合う事を非常に大切にしている。配布数も増えてきていて保健室で配布しているという事も定着している。

問 その事を踏まえても、やはり恥ずかしいと思う生徒が、緊急な時に間に合わない様な事態になる事も考えられる。学校側の考えを否定するつもりはないが、多方面で考える必要があると思うが。

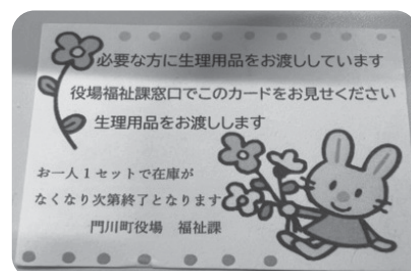
教育長

生理用品のトイレ設置については学校側に調査をした。その上で養護教諭の責任を果たす意思を尊重し指導の機会として保健室で直接配布をしている。

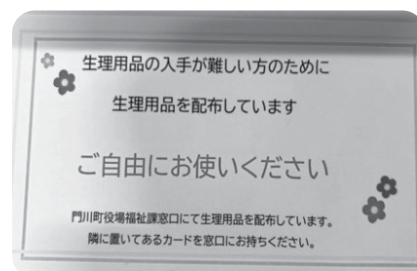
問 大事なのは生徒の気持ちなので引き続き検討してほしいが、町長の考えは。

町長

トイレ内にて自由に使用できる事も良いとは思いますが、現状の取り扱いのような相談できる状態を作ることが必要と考える。



▲生理用品引き換えカード



▲役場トイレ内の案内



「第三次門川町教育振興基本計画」について

いわきり よしき
岩切 義樹 議員

教育長 学力向上プロジェクト委員会を中核として進めていく

問「第三次門川町教育振興基本計画」の中では、「町民一人ひとりが主役の町づくり」を推進する教育の充実をスローガンとしているが、令和5年度は、具体的にどのような施策を推進されてきたか。

教育長

門川町では、学校教育と社会教育について12の施策を立てており、その中で「地域と学校の連携・協力の推進」「確かな学力を育む教育の推進」「安全・安心な学校づくりの推進」の3点を重点施策と位置付けている。特に、令和5年度では「学力向上の推進」「生徒指導の充実」「防災教育」を目指し、地域との協力による教育の推進を重視している。この取り組みは、町民一人ひとりが主役となる町づくりを見据えながら次世代の子どもたちの教育に力を注いでいる。

問重点施策として、「確かな学力を育む教育の推進」が掲げられているが、本年度の全国学力・学習状況調査で、本町の小・中学校は全国平均を下回る結果であった。学力向上を図るためにどのような取組を行っているか。

教育長

小・中学校の学力向上を図るために13名で構成した「学力向上プロジェクト委員会」を中心に学力対策を進めている。委員会は学力調査結果の分析や授業づくり、ICTの活用などを協議し、町教育委員会も授業研究会や先進視察などを推進。さらに、月一回発行の「委員会だより」で学力現状と課題を伝え、学校と家庭の連携を図る取組を実践内容の周知や啓発に努めている。来年度からは門川高校も参加し、新たな取組も検討される。

問計画には「ふるさとを愛し、社会と関わりながら、自らの人生を切り拓く子ども」といった「目指す子ども像」が設定されている。ここに示されている「ふるさとを愛する気持ち」をどのように育てているか。

教育長

「ふるさとを愛する気持ち」を育むために、小学校では地域の特色を生かした学習や活動、中学校ではキャリア教育を通して、子どもたちがふるさとに理解を深め、将来の定住や地域への貢献を期待している。町外で活躍したりUターンしたりする子どもたちにも、ふるさとへの愛情や応援団としての思いを育んでいく考えであり、教育を通じて地域への誇りと愛着をもつ人材を育成していくことを目指している。

問「ふるさとを愛する気持ち」との関連から、本町の文化振興の大切な取組と言える「門川町の三大祭り」、あるいは「庵川ばんば踊り」や「小園臼太鼓踊り」、「門川神楽」などの郷土芸能など、町の文化財の保存や継承についてどのように考えているか。

教育長

文化財は歴史や風土と結びついた貴重な財産であり、尾末神社大祭の「尾末だんじり」や運動会、文化祭などで伝統文化が継承されている。これらは地域の歴史や文化を語り、地域コミュニティの活性化に貢献している。次世代に伝えるために、伝統文化の指定・継承を進め、担い手の育成や記録保存を支援していく取り組みを続けていく。



▲尾末神社(2020年撮影)

でぐち まれとし
出口 希俊 議員

大津波対策として、弱者救済のためのライフジャケット配布を

町長 有用性に対する根拠がない

問東日本大震災で津波による溺死で亡くなった方々が、90.6%の14,308人ですがライフジャケットを装着した場合、装着していない人に比べると、約8割の確率で生存率が上がります。せめて弱者の方々にだけでも配布できないか。

町長

ライフジャケットがあることにより、安心感に繋がりが避難の開始が遅くなり助かる命が失われる為、現在は考えていない。

問大津波対策として、高齢者及び障害者の方々は、一般人に比べて特に不安が大きいの、死を覚悟される方も想像できます。そんな方々の心の拠り所になると考えますが、町長のお考えは。

町長

現在の知見では、大津波対策としてのライフジャケットの有用性に対する根拠が得られて

いないため評価できない状況ではない。

問大規模災害時に、近隣市町村及び医療機関との防災提携を結んでおくことが重要だと考えるが、この市町村と防災提携を結んでいるのか。

町長

大規模災害時の災害提携は、日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村と災害時相互支援に関する協定書を締結している。また医療機関については災害協定は、日向病院との間で災害時における一時避難所として利用させて頂く協定を締結している。

問門川町41自治区の現状の問題点として、高齢化が進み、それぞれの地区活動が大変な状況がうかがえる。区長さんの成りても少なく、同じ区長さんが仕方なく引き受けるしかない状況だが、対策は考えているのか。

町長

それぞれの自治会の活動を活性化していくことで、新たな役員の担い手の育成等を支援して行きたい。

問日向病院は、60年以上にわたり地域医療を支える要として最も重要な医療機関である。現在数々の疾患の確な診断と治療に欠かせないMRI装置が、危機的状況であることは、把握しているか。また門川町として助成をどう考えているのか。

町長

日向病院が、地域医療の核となる医療機関であることは、十分に認識している。公的病院の枠組みの中で、検討し、効果的な支援策を講じたかと考えている。



▲宮崎県済生会日向病院





かんざき ちかこ
神崎 千香子 議員

企業誘致 用地はあるのか

町長 引き続き調査研究に取り組む

問 来年度予算編成方針の考え方、特に企業誘致、産業振興、観光振興などどのような取り組みをされているのか。

答 産業振興、観光振興についても、本年度実施の各事業の検証を行い、これから、具体的な取り組み内容を進めていく。

町長 持続可能な社会構築に向けた取り組みを重点的に推進していく。企業誘致については、門川町企業立地促進条例を改正し、奨励金の大幅増額を行った。今後は、様々な情報を集め、引き続き調査研究に取り組む。

問 企業誘致については、用地買収のための奨励金を大幅増額したが、企業が来たくても用地の問題がある。
町長 平成27年度策定の門川町都市マスタープランでは、産業団地の第1候補地について、現在、農業振興地域整備計画の見直しを進めている。としている。現状は。



▲産業団地

建設課長 実施計画はまだ決まっていないので行っていない。

問 動きだした加草・中村線を活かすために、この産業団地が必要ではないのか。

企画戦略課長 確かに加草・中村線が抜けるからこそ、今回の都市マスタープランにも、候補地として基本計画を策定した。しかし、その後、実施計画の協議段階で30億円という事で予算面の問題で止まっている。

町長 企業誘致の条例改正などソフト面から取り組んでいく。

今後の西門川の振興策について

町長 令和4年度「町づくり研究会」が提案した「西門川小中学校跡地、西門川活性化センター、五十鈴川の3つのエリアを活用した西門川活性化事業案」を参考に関係者間で協議している。

問 安心安全、環境負荷の低減持続可能な農業への取り組みとして、有機農業の産地づくり(オーガニックビレッジづくり)の取り組みをしたらどうか。

町長 現在「オーガニックビレッジ宣言」につきましては予定していないが、今後、農業生産者や流通・加工業者、生産者団体などが地域で、有機農業に取り組む場合には、「オーガニックビレッジ宣言」を前向きに検討していきたい。



▲家庭菜園で育てたブロッコリー

町長 令和3、4年度に町職員はじめ町民の方や学生にも参加していただき研修会を開催したり、令和5年度には、「広報かどがわ」にイラストやわかりやすい表現に置きかえたSDGsの記事を掲載し啓発活動を行った。

SDGsへの取り組みについて

問 町有林の広葉樹化や針広混交林化についての考え方は。

町長 町有林の面積は町全体の五百六十一ha、針葉樹が45・2%広葉樹が54・8%となっており、単層林から針広混交林化に移行することは、山地災害防止や生物等の多様維持等の観点からも、大きな効果がある。

問 武道館改修について老朽化が進んでいるが、実施できないか。

教育長 雨漏りや換気扇などの修理は終えたところ。

問 今後の武道館建て替え計画は。

教育長 今後の方向性については、まだ具体的な計画までには至っていない。

問 弓道場を含めた複合型施設を造る考えは。

教育長 弓道場の設置の可能性についても検討している。



▲門川町武道館

建て替えや、他施設との複合・集約化による大規模改修を考慮しながら、多額の予算を必要とする事業であるため、将来の大きな負担とならないよう計画していきたい。

たなか とよかず
田中 豊和 議員

林業に対する取り組み

町長 今後も森林の適切な整備保全に努める

問 森林環境譲与税に取組んだ事業内容と効果は。

問 コスモス薬品からの企業版ふるさと納税のこれまでの使途と効果は。

町長 森林整備に関する施策として私有林人工林については町が集積計画を策定し、5年間の管理を行う。森林経営管理制度の実施にあたっては、地域林政アドバイザーを雇用し、対象森林の選定や森林状況、施設計画策定など専門的な業務、一人親方への防災保険や退職共済等への補助、下刈り作業員に賃金補助など、支援策を実施し、労働環境の改善に努める。

町長 町では、令和4年度より、寄付を受け入れており、令和4年度は一千五百二十二万円、令和5年度は九百六万円の寄付を頂いており、私有地の造林、下刈りに対する補助や、町有林の下刈りや作業道の補修、林道の維持補修工事などに充てており、森林の再造林の促進や町有林の林道等の適切な維持管理を図る。



▲森林経営管理制度 作業道補修



▲森林経営管理制度 除間伐



▲森林づくり事業下刈 (完了)



▲森林づくり事業下刈 (着手前)



企業誘致 用地はあるのか

町長 引き続き調査研究に取り組む

問 来年度予算編成方針の考え方、特に企業誘致、産業振興、観光振興などどのような取り組みをされているのか。

答 産業振興、観光振興についても、本年度実施の各事業の検証を行い、これから、具体的な取り組み内容を進めていく。

町長 持続可能な社会構築に向けた取り組みを重点的に推進していく。企業誘致については、門川町企業立地促進条例を改正し、奨励金の大幅増額を行った。今後は、様々な情報を集め、引き続き調査研究に取り組む。

問 企業誘致については、用地買収のための奨励金を大幅増額したが、企業が来たくても用地の問題がある。
町長 平成27年度策定の門川町都市マスタープランでは、産業団地の第1候補地について、現在、農業振興地域整備計画の見直しを進めている。としている。現状は。



▲産業団地

建設課長 実施計画はまだ決まっていないので行っていない。

問 動きだした加草・中村線を活かすために、この産業団地が必要ではないのか。

企画戦略課長 確かに加草・中村線が抜けるからこそ、今回の都市マスタープランにも、候補地として基本計画を策定した。しかし、その後、実施計画の協議段階で30億円という事で予算面の問題で止まっている。

町長 企業誘致の条例改正などソフト面から取り組んでいく。

今後の西門川の振興策について

町長 令和4年度「町づくり研究会」が提案した「西門川小中学校跡地、西門川活性化センター、五十鈴川の3つのエリアを活用した西門川活性化事業案」を参考に関係者間で協議している。

問 安心安全、環境負荷の低減持続可能な農業への取り組みとして、有機農業の産地づくり(オーガニックビレッジづくり)の取り組みをしたらどうか。

町長 現在「オーガニックビレッジ宣言」につきましては予定していないが、今後、農業生産者や流通・加工業者、生産者団体などが地域で、有機農業に取り組む場合には、「オーガニックビレッジ宣言」を前向きに検討していきたい。



▲家庭菜園で育てたブロッコリー

町長 令和3、4年度に町職員はじめ町民の方や学生にも参加していただき研修会を開催したり、令和5年度には、「広報かどがわ」にイラストやわかりやすい表現に置きかえたSDGsの記事を掲載し啓発活動を行った。

SDGsへの取り組みについて

問 町有林の広葉樹化や針広混交林化についての考え方は。

町長 町有林の面積は町全体の五百六十一ha、針葉樹が45・2%広葉樹が54・8%となっており、単層林から針広混交林化に移行することは、山地災害防止や生物等の多様維持等の観点からも、大きな効果がある。

問 武道館改修について老朽化が進んでいるが、実施できないか。

教育長 雨漏りや換気扇などの修理は終えたところ。

問 今後の武道館建て替え計画は。

教育長 今後の方向性については、まだ具体的な計画までには至っていない。

問 弓道場を含めた複合型施設を造る考えは。

教育長 弓道場の設置の可能性についても検討している。



▲門川町武道館

建て替えや、他施設との複合・集約化による大規模改修を考慮しながら、多額の予算を必要とする事業であるため、将来の大きな負担とならないよう計画していきたい。



「子ども議会」をつくってはどうか なかじょう よしかつ 中城 資力 議員

町長 未来を支える人材に耳を傾けたい

問 投票率が日本一の自治体では子ども議会を実施し、大きな成果を上げている。門川町でも実施しはどうか。

町長 若者の投票率が低いことは顕著であり、本町としても現在様々な取り組みをしている。本町では「子ども議会」の要素を含む、「新春子供の声を聞く会」を実施している。未来を支える人材に耳を傾け、理解を深めたい。

問 これまでの本町の投票率の経緯は。

総務課長 投票率は徐々に低下しており50%程度。

問 町民の約半分が投票を棄権している状態。実際に子どもの声を聞く会での内容が町の施策に反映された例は。

教育課長 乙島のキャンプ場の利活用など、様々な要素に参考とさせていただいている。



問 門川町の「特産品」と言えばいろいろあるが、本町には「酒」や「焼酎」がない。旧西門川小中学校を利して、酒や焼酎を作り、特産品としては。

町長 門川町産の地酒が誕生すれば、新たな地域ブランドとして大いに期待される。酒蔵の設置には「酒類製造免許」が必要であり、非常にハードルが高い。

問 ふるさと納税では取扱い品目が大きく寄付額に反映される。酒や焼酎など品目を増やして、今後の自主財源の確保に努めていただきたいのだが、日本一の「都城市」と商品数を比較するかどうか。

地域振興課長 都城市は「1300品目」で門川町は「360品目」である。



問 おおよそ100年周期で発生する「南海トラフ巨大地震」から現在80年が経過しており、大変危惧されている。門川南スマートインターチェンジの付近に、「道の駅」「サービスエリア」「防災センター」の機能を有した、複合商業施設を建設し、災害ボランティアや自衛隊と連携し、地震に備えてはどうか。

町長 南海トラフ巨大地震については大変危惧している。町内一斉避難訓練や下校時一斉避難訓練などを実施し、また、災害ボランティアについては、社会福祉協議会において設置し、運営している。

問 内閣府の資料によると、東日本大震災において災害ボランティアが153万人、その他のボランティアが400万人支援に訪れたが、災害時に本町で対応可能か。

福祉課長 社会福祉協議会において協定書を交わし運営しているが、災害時には連携し協力体制を整えていきたい。

問 「道の駅」は「防災拠点自動車駐車場」となるが、本町の道の駅に対する考え方は。



建設課長 現在、道の駅を建設する予定はないが、建設の運びとなれば「防災拠点自動車駐車場」として運用する。

こんな活動をしています!!

庵川東区、草川小学校屋上避難場所等の現地調査報告

総務財政厚生常任委員会

令和5年10月18日に、庵川東区には自主防災組織が設置され、6ヶ所の地区の避難場所があり、避難経路も整備されています。

心の杜への避難道は、簡易な照明や手すりが設置されています。

草川小学校屋上避難場所は、地上16mで、約400名収容となっており、各地区で避難場所を決めておく必要があります。収納ベンチには、簡易トイレ、トイレットペーパー、オムツなどが収納されていました。



▲庵川東の避難場所入り口



▲防災収納ベンチ(草小屋上) (記:魚永)

新富町し尿処理施設(潮香苑)の視察報告

産業建設文教常任委員会

令和5年10月28日に、門川町における次期衛生センター建設に関して、同様の処理方式で現在稼働中の新富町し尿処理施設(潮香苑)施設内を視察いたしました。施設や処理の概要等について、新富町の担当職員および運営管理担当職員から説明を受け認識を深めました。



▲新富町し尿処理施設内の状況 (記:出口)

3年ぶりのもちつき大会！

2023年12月14日、快晴の「きぼうの森こども園」にてもちつき大会が行われました。3年ぶりの開催でうまくもちつきができるか心配との事でしたが、職員、保護者一丸となって、とても立派なおもちが出来上がり、当の子供達も大喜びでもちつき大会を楽しんでいました！保護者達がもちつきをしている時に「ガンバレ!!ガンバレ!!」と子ども達が可愛い声援を送っていて心が和みました。こういった体験が子ども達の未来にも良い思い出として残り続ける事でしょう！

(記:黒田)



編集後記

慌ただしい一年間も、無事に終盤を迎える事が出来ました。門川町議会としましては、議会改革特別委員会のこれからの活動計画を模索している所です。町民の皆さまと一緒により良い門川町を目指して取り組んで行く所存でございます。皆さまのご意見ご要望をお待ちしています。

次回3月定例会の予定

3/5(火)	5日(火)	(開会)議案の上程
↓	6日(水)・7日(木)	一般質問
3/21(木)	21日(木)	議案の採決(閉会)

上記の日程で開催を予定しています。日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。

お詫びと訂正

議会だより令和5年11月号の記事内容に誤りがありましたので訂正いたします。

2頁の一般会計補正予算中、「電子申請サービスのシステム改修事業」を「電子申請サービスのシステム改修事業等」に、3頁人事案の教育委員会委員の任命同意中、「尾末在住」を「梅ノ木在住」に訂正してお詫び申し上げます。

- 発行者／門川町議会議長 森 誠一
- 編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL(0982)63-1140
- 議会広報編集特別委員会／委員長 出口 希俊 副委員長 岩切 義樹
委員 黒田 耕右 魚永 崇貢 田中 豊和 寺田 泰隆
- 印刷／有限会社 第一印刷